

令和5年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立久喜工業高等学校)

目指す学校像	「ものづくり」や「体験」を通して「技術」・「学力」を身につけ、地域の信頼と期待に応え社会の変化に対応できる人材を育成する学校
--------	--

重点目標	<p>1 個に応じた学力と技術の向上を推進する。 授業内容・指導方法の充実を図る。資格取得等を奨励する。</p> <p>2 基本的な生活習慣を確立し、規律ある生徒を育成する。 欠席、遅刻、早退の減少を図る。服装・頭髪・挨拶の指導を徹底する。</p> <p>3 一人一人の進路希望を実現する。 生徒の職業観や勤労観を育成するとともに、進路希望に応じたきめ細やかな指導を行う。 地域の信頼と期待に応える開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>4 中学生やその保護者及び地域に積極的な情報提供を行う。地域行事等へ参加し地域連携を行う。</p>
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	13名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (1月18日 現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】 ・生徒の授業に取り組む姿勢は良好である。 生徒アンケートでは意欲的に学習に取り組んでいる生徒の割合は全体の70%程度であり、授業に興味・関心があるとみられる。</p> <p>【課題】 ・生徒アンケートでは授業内容に対する興味関心が全体の70%程度であるが、身につけた専門知識を生かして進路も見据えた資格取得等に取組む生徒を育てることが課題である。</p>	<p>・基礎学力の定着と発展的な学習への対応を実現する。</p> <p>・幅広い知識・技術(資格取得を含む)の修得を図る。</p>	<p>①学力向上委員と連携して、基礎学力向上に取組む。 ②教科の特色に合わせ、効果的にICT機器を使用した授業を実践する。また、「一人一台端末」を有効的に活用する。</p> <p>①資格取得やコンテスト・大会等に必要知識・技術と授業の関連性を持たせ、目的意識の向上につなげる。</p>	<p>①12月に実施する生徒アンケートで「久喜工高の先生はわかりやすい授業の実施や、興味・関心を高める工夫をしている」と回答した生徒を全体で前年度比5%増にできたか。</p> <p>①12月に実施する生徒アンケートで「私は、授業の内容に興味・関心がある」と回答した生徒を全体で前年度比5%増にできたか。</p>	<p>生徒アンケートの「久喜工高の先生は、わかりやすい授業の実施や、興味・関心を高める工夫をしている。」項目において84.1%の生徒が肯定的評価をしていた。</p> <p>「私は、授業の内容に興味・関心がある。」のアンケート項73.9%の肯定的評価であった。</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>授業改善が進み生徒の取り組み姿勢も前向きになっていることが確認できたので、授業内でICT機器の活用できる範囲を広げ授業内容の深化を進める。</p> <p>授業内容に対する興味関心は学年が上がるごとに減少する傾向があるので、学習に対する意欲が持続できるように授業を工夫する必要がある。</p>
2	<p>【現状】 ・基本的な生活習慣を確立できている生徒が多い。しかし、昨年度の問題行動は11件(昨年度より2件増)で、生徒指導に関わる退学者および進路変更者は0名である。</p> <p>【課題】 ・各学年と連携を図りながら指導を徹底し、生徒の規範意識をより向上させることが課題である。 ・昨年度は問題行動が増加したので、未然防止策を更に検討し、特別な支援を要する生徒への対応が課題である。</p>	<p>・遅刻指導と身だしなみ指導の継続的な実施を図る。</p> <p>・問題行動を起こさせない、退学および問題を抱える生徒を把握するとともに対処法を研鑽する。</p>	<p>①登下校指導、挨拶指導、巡回指導を年間10週以上実施する。 ②身だしなみ指導を年間5回以上実施する。 ③自転車マナーアップ推進校として、自転車の交通安全教室、自転車点検を定期的に実施する。 ④生徒対象のいじめアンケートを実施する。 ⑤生徒対象の講習会(非行防止・薬物乱用防止、いじめ・SNS関連)を実施する。 ⑥教職員対象の研修会(特別支援教育、発達障害に関する研修)や教育相談を定期的に実施する。学年・教科情報交換会を実施</p>	<p>①遅刻数の少ない状態を維持できたか。挨拶できる生徒、身だしなみが整っている生徒を前年度より増加できたか。 ②12月に実施する生徒アンケートで「久喜工高は遅刻防止指導に、計画的に取り組んでいる」「久喜工高は服装・頭髪などにきちんと指導を行っている」と回答した生徒をそれぞれ全体の80%以上にできたか。 ①いじめを未然に防止する取組が実践できたか。 ②少ない問題行動(指導件数)の状況を維持できたか。 ③教職員対象の研修会や特別支援委員会の内容が充実し、学年・教科情報交換を年3回実施できたか。生徒指導に関わる退学および進路変更者を少なくできたか。</p>	<p>生徒アンケート結果は「遅刻防止指導に、計画的に取り組んでいる」が63%、「服装・頭髪などに、きちんと指導を行っている」が88%であった。</p> <p>12月末現在、問題行動は10件で前年度より1件減少した。特別支援教育に関する教職員研修会を実施し、知識・資質が向上した。</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>遅刻を繰り返す生徒が増加したので、指導の強化が課題。身だしなみ指導は日頃からの指導を徹底し、再指導対象生徒を更に減少させることが課題である。</p> <p>問題を抱え支援を必要とする生徒の増加に伴い、問題行動も多様化しており実態把握に努める。久喜特別支援学校や医療機関などとの連携を継続するとともに、カウンセリングの体制を強化する。</p>
3	<p>【現状】 ・計画的なキャリア教育により、就職率・進学率100%を継続している。企業との情報交換を密にして生徒の進路選択を充実するようにしている。</p> <p>【課題】 ・進路意識の希薄で進路決定までに時間を要する生徒がいる。学年と連携をして計画的な進路指導を行うようにすることが課題である。</p>	<p>・就職率・進学率100%を実現する。</p> <p>・12年連続している、就職試験1回目の合格率80%以上を継続させる。</p>	<p>①企業との情報交換会へ積極的に参加して情報収集を推進する。 ②「Handy進路室」を活用し、求人票をいつでも閲覧できるようにし、家庭でも閲覧できるようにし、生徒と保護者の進路選択に活用する。</p> <p>①「Handy進路室」により、迅速に求人票を生徒が閲覧できるようにし、生徒個々に適した時期に細やかな情報提供を行う。 ②各学年の進路ガイダンス等の行事や進路相談を通して、進路に意識を高めさせ進路決定のサポートをしていく。</p>	<p>①新規に開拓した企業が前年度より増加できたか。 ②12月に実施する生徒アンケートで「進路決定にむけて、生徒の希望や保護者の期待に応えている」と回答した生徒を全体の80%以上にできたか。</p> <p>①求人件数を維持して生徒の選択肢を確保できたか。 ②生徒に進路選択を意識づける進路行事ができたか。3年生は進路対策に向けた面接指導が5回以上実施できたか。</p>	<p>就職率は、98%、進学率は、99%達成することができた。</p> <p>第1回目の入社試験合格者を91.1%となり、生徒の求人を確保することができた。 就職及び進学に向けた、面接練習は生徒が教員にお願いをし、1人5回以上の練習をすることができた。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>進路未定者が10人(5%)いる。1年次からの進路意識高められるよう学年団とさらに連携し、生徒の進路選択を実現できるようにする。 「Handy」進路室は一定の効果があり、今後も継続する。 学年進路担当任せの進路行事を組織的に、系統的に実施できるようにさらに行事を見直していく必要がある。</p>
4	<p>【現状】 ・広報部が中心となり、生徒募集(学校説明会、体験入学等)の企画運営を行っている。昨年度入試では、定員を満たすことができなかった。欠員補充によっても定員を満たせず難しい状況である。</p> <p>【課題】 ・本校の教育活動や学習内容を中学生や保護者、地域住民に対して、継続的に幅広く発信することが課題である。 ・地域の各種イベントや行事等に積極的に参加し、地域に根ざした高校として貢献していくことが課題である。</p>	<p>・情報発信を積極的にを行い、本校への理解を深めていくとともに、入学志願者を確保する。</p> <p>・様々なイベントや行事等に積極的に参加し、地域に根ざした高校として貢献する。</p>	<p>①ホームページや学校案内等の資料を活用し、日頃の教育活動について情報を発信する。 ②学校PR資料「久喜工だより」を各学期に作成し、中学生や地域住民等に向けて配布する。 ③生徒募集行事を計画的に実施する。</p> <p>①地域のイベント・行事および小中学校や児童センターとの交流事業を継続して実施し、年間5回以上の活動を実施できたか。 ②12月に実施する生徒アンケートで「久喜工高は、地域から良い学校だと評価されている」と回答した生徒が全体の80%以上にできたか。</p>	<p>①ホームページを頻繁に更新し、アクセス回数を前年度より増加できたか。 ②学校PR資料「久喜工だより」を各学期に作成し、中学生や地域住民等に向けて配布できたか。 ③生徒募集行事を感染症対策を施し、安全かつ計画的に実施できたか。</p>	<p>年300回を超えるHP更新や各部活動・久喜工公式インスタの開設なども行いフォロワー数も伸びている。中学生志願先希望調査(1/12)では、1つの学科で倍率1倍を超えたに過ぎず、予断を許さない状況が続いている。</p> <p>出前授業等、各種イベントへの出展、小中学校交流事業にも積極的に参加することができた。 アンケート結果「地域から良い学校だと評価されている」も良好な反応となっている。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>各所から情報を吸い上げ、今まで以上に、インスタ、HPを積極的に更新するなどし、情報発信していく必要がある。 募集行事に全職員の協力を得ながら、応募者数をあげていく努力が必要である。</p> <p>休日実施の募集行事に対して職員の仕事への負担が大きいとの意見もあるが、コロナ前の定員に戻すことを目標に、役割分担の見直し、参加しやすい日程の模索などを行うことで、改善予定である。</p>

学校関係者評価		
実施日	令和6年1月31日	
学校関係者からの意見・要望・評価等		
<p>生徒アンケート結果から、先生たちの取り組みが学びに対して良い結果をもたらしている事が分かる。勉強のスペースを、学校に設置することなどが考えられる。しかし、家庭学習を定着させることが課題。探究学習はどのように取り組んでいるのか。大学でも、問題発見・問題解決ができる学生は少ない。1年生のうちから考える授業をしたほうが良い。</p> <p>学校として、遅刻防止指導を計画的に取り組んでいるのに対して、アンケートの結果が下がっている理由はなぜなのか。大学では学生が授業中に寝てしまう。しっかりとした睡眠時間を確保するための睡眠指導も必要である。工業高校出身の大学生は挨拶がとてもできている。また、工業高校出身者には、工業大学に来たくて来ている学生が多い。</p> <p>3年間を通して、計画的な進路指導ができていて素晴らしい。Handy進路室は便利である。しかしながら、情報量が多いのでその中から受ける会社を決めるのは大変である。いくつか見繕ってほしい。就職した後の離職率のデータがあるのと、より良い進路決定ができるのではないかと。挨拶ができる生徒が多い。先生方がしっかりと指導している。卒業した後でも、相談にのってくれるとうれしい。</p> <p>久喜工業高校の先生たちは頑張っている。しかし、倍率が増えない理由はなぜなのか。生徒募集を、生徒が行う機会はあるのか。説明会などで生徒が協力することはあるのか。先生方が説明することも必要であるが、生徒が説明した方が中学生に理解してもらえることもあると思う。在学中にたくさんの資格を取得することはとても良いことだと思う。資格を取得するための勉強はいつしているのか。授業等でどのように取り組んでいるのか。</p>		